

## 4月の活動報告

### ●合同スタートセミナー(アスト津)【4月11日】

「平成24年度NPO等からの協働事業提案 合同スタートセミナー」にて、この事業と一緒に進めていく関係団体と、今回の事業の目的やスケジュールについて確認し合いました。今回、参加いただいた関係団体は、松阪商工会議所 / 三重県環境生活部 / 三重県雇用経済部 / Mブリッジ (6名) でした。

検討事項の概略は、下記の通りです。

- ・ **事業の概要について** 今年度にダイアログを2回以上開催する
- ・ **検討会について** 検討会の位置づけ、あり方、を明確にするべき。もっと多様なセクターから参加していただいてもいいのでは。【例】松阪市などの市町、商工会議所連合会・商工会連合会・産業支援センター等の経済団体、大学の教授、モデルとなる企業関係者、コミュニティメディア、パートナーシップ・サポートセンターなど
- ・ **平成25年度以降に継続していくためには、どんな仕組みがあるといいか**

#### ①ダイアログを定期開催できる仕組み

... 企業とNPOが定期的に会い、課題を共有できる場づくり

#### ②活用・普及ツールの制作

... 活用モデルの実施、マニュアル作成、対話が進みやすくなるワークシート

- ・ **平成25年度以降に何を残していくか**

企業にもNPOにも Win-Win の関係 / 行政の関与なしで自発的に続く関係 / ダイアログ・協働に協賛する企業ネットワーク / 企業とNPOの協働による課題解決事例をつくる

### ●シャープ(株)三重工場 ダイアログの準備

17日、ダイアログ事業の最初のモデルケースとなる、シャープ(株)三重工場のステークホルダーダイアログの打合せと下見を実施しました。ダイアログ当日は工場見学を予定しており、実際にMブリッジのスタッフが下見をしました。打合せでは、当日の参加者の選定、三重工場とMブリッジの役割分担、当日のスケジュール等について検討しました。28日には、Mブリッジスタッフが「シャープの森」へ出向き、三重工場の地域貢献活動の現場を視察。また、Mブリッジ内でもダイアログについて話し合うミーティングを実施しました。

## 今後の課題

- 検討会の位置づけ、役割の明確化
- 検討会に参加していただく関係団体への声かけ
- 年間スケジュールを明確にし、検討会で共有する
- 検討会用メーリングリストの活用

## 今後の予定

- 5月1日(火)  
ダイアログbar(京都)の視察
- 5月7日(火)  
シャープ(株)三重工場ダイアログの実施のリハーサル
- 5月15日(火)  
シャープ(株)三重工場ダイアログの実施